



道路ニュース

THE ROAD NEWS No. 632

令和4年7月号

発行所 全国道路利用者会議
〒100-0013
東京都千代田区霞ヶ関3-3-1
尚友会館6階
電話 03-3501-5611(代)
発行人 小林 勉
定価 20円(会員の購読料は会費を含む)

8月10日は「道の日」

道路の移動等円滑化に関するガイドラインを改定 ～踏切道での安全対策～

現行のガイドラインでの記載内容

◇事例紹介

事例の掲載により、好事例を各道路管理者に周知し、バリアフリー対策の普及を図っている。



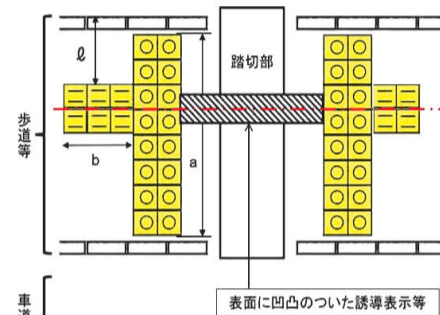
(踏切手前への視覚障害者誘導用ブロック、踏切内への誘導表示を設置した事例)

改定したガイドラインでの記載内容

◇踏切道での視覚障害者の誘導について、以下の整備内容を明確に規定

- ①踏切手前部に視覚障害者誘導用ブロックを設置 (積極的な整備を求める内容)
- ②視覚障害者が踏切の外にいと誤認することを回避するため、踏切内に表面に凹凸のある誘導表示等を設置 (さらに高い水準として望ましい整備内容)

◇誘導用ブロック等の設置図を追加



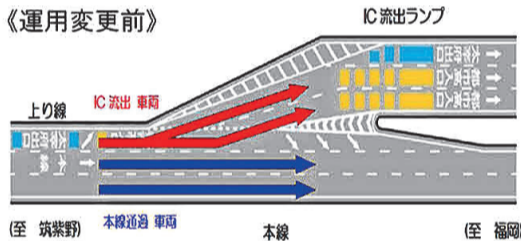
◇事例の追加



奈良県大和郡山市の事例
(歩車分離されていない道路での誘導用ブロック等の設置事例)

本年4月、奈良県内において視覚に障害のある方が踏切内で列車に接触して亡くなる事故が発生した。この事故を受けて国土交通省は、視覚障害者団体、学識経験者の意見を伺い、

「道路の移動等円滑化に関するガイドライン」を改定した。具体的な改定内容として、踏切手前部の視覚障害者誘導用ブロックの設置を標準的な整備内容とする。踏切内での表面に凹凸のある誘導表示等の設置を望ましい整備内容として位置づけ(Recommendation)とした。



九州自動車道(上り線) 太宰府IC付近の渋滞が大幅に減少

— 運用変更後1年の効果 —

NECCO西日本九州支社は、九州自動車道(上り線)太宰府IC付近で発生する渋滞の緩和を目的に、令和3年3月26日(金)に高速本線からICへの流出車線を1車線から2車線に変更した。

運用変更後、九州自動車道(上り線)筑紫野IC、太宰府ICにおける交通集中による渋滞は大幅に減少している。また、ピーク時間における太宰府IC周辺の平均速度が最大で26km/h改善している。

なお、交通量減少の影響を考慮し、引き続き、交通状況を注視していくとして、

※1 令和3年度(令和3年4月1日～令和4年3月31日) 年4月1日～令和4年3月31日

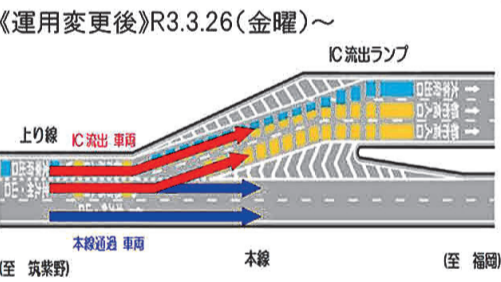
※2 ピーク時間:17時00分～18時00分

NECCO中日本と、KDDI株式会社(以下、「KDDI」)は、災害時の迅速な復旧活動の展開を目的とした「中日本高速道路株式会社とKDDI株式会社との災害発生時の連携に関する協定」の締結した。

令和4年6月30日に締結した。

「NECCO中日本とKDDI株式会社との災害発生時の連携に関する協定」の締結

【本線(流出車線)1車線 → ランプ2車線】



備の復旧に向けた相互協力を行う。

例えば、NECCO中日本は、通行止め区間でKDDI緊急車両の通行支援や災害復旧拠点となるサービスエリア・パーキングエリアの一部施設の提供、KDDIはNECCO中日本の災害復旧活動に必要な通信確保に向けた連携やスマートフォンやタブレットなどの通信端末の貸し出しなどの支援を行う。

【本線(流出車線)2車線 → ランプ2車線】

緊急連絡窓口の共有
連携訓練、連絡会議の実施

〈平常時〉

〈災害時〉

- ・高速道路の通行止め区間および被害・復旧状況に関する情報提供
- ・高速道路の通行止め区間での緊急車両の通行、緊急開口部の活用に関する協力
- ・KDDIの災害復旧活動の進出拠点となるサービスエリアおよびパーキングエリアの提供
- ・被災地域の通信状況および通信施設などの被害状況に関する情報提供
- ・緊急車両が移動中に発見した高速道路の被害状況の情報提供
- ・NECCO中日本の災害復旧活動において必要な通信回線の確保に向けた連携
- ・災害復旧拠点エリアへの各種ツール(充電、Wi-Fi)による支援

～ 災害時での円滑な相互連携協力 ～

迅速な被災地復旧活動を展開

令和4年度「道路ふれあい月間」推進標語

「朝もかた「あせつ」が言えた朝」

「道路総合システムサービス」企業



ニチレキ株式会社

東京都千代田区九段北4-3-29 TEL 03(3265)1511代表